

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	12-12																																							
PDCA	主要事業名	企業立地・創業支援事業	部課名	市民経済部産業課	担当 内線	加藤 320																																								
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 1 - 2 単位施策： 企業立地 全体事業期間： 令和 5 年度 ~ 5 年度 全体事業費等： 590,389 千円 会計 一般会計 歳出科目： 06.01.02.06.50																																													
	事業概要等	事業概要： 本市に新規進出する企業に向けた高度先端産業立地奨励金や本市からの流出防止及び設備投資を促進する半田市企業再投資促進補助金等の優遇制度により、企業の事業拡大を支援する。また、創業支援は、起業・会社設立支援補助金を実施し、法人設立等の起業及び雇用創出を支援する。																																												
		事業目的： 優遇制度を広くPRすることで、本市への新規進出や事業拡大等を図り、企業立地を推進する。また、雇用創出や地域の活性化のため、新規起業者も支援する。																																												
		事業内容： 事業者を支援するため、企業再投資促進補助金、起業・会社設立支援補助金を交付する。石塚地区工業団地の誘致活動として、セミナー参加・広告等掲載する。																																												
		問題点・課題等： 企業側が求める支援策の聞き取りを行うなど、企業ニーズを把握するとともに、企業進出や事業拡大が円滑に進む様、環境を整備する必要がある。																																												
	予算額	主要事業とする理由																																												
	590,389 千円	本市への新規立地や事業拡大等を支援することで、税収の増加及び新たな雇用創出、それに伴う定住人口の増加を図るため。																																												
	財源内訳	得られる成果																																												
	市費 514,603 千円	新たな企業進出や補助金等の優遇制度を活用した設備投資による事業拡大により、安定的な税収確保や雇用創出に繋がる。																																												
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">企業立地件数</td> <td>実績値</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">起業・会社設立支援補助金の交付件数</td> <td>実績値</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">先端設備等導入計画の認定件数</td> <td>実績値</td> <td>7</td> <td>22</td> <td>—</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>						目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	企業立地件数	実績値	1	0	—	件	目標値	1	1	1	件	起業・会社設立支援補助金の交付件数	実績値	4	3	—	件	目標値	4	4	4	件	先端設備等導入計画の認定件数	実績値	7	22	—	件	目標値	30	30	30	件
	目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																								
	企業立地件数	実績値	1	0	—	件																																								
		目標値	1	1	1	件																																								
	起業・会社設立支援補助金の交付件数	実績値	4	3	—	件																																								
		目標値	4	4	4	件																																								
先端設備等導入計画の認定件数	実績値	7	22	—	件																																									
	目標値	30	30	30	件																																									
県費 75,786 千円																																														
その他 0 千円																																														
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果																																												
	533,088 千円	起業・会社設立支援補助金を4件交付し、創業者を支援した。また、22件の先端設備等導入計画を認定し、中小企業の設備投資を支援することができた。																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">企業立地件数</td> <td>実績値</td> <td>0</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">起業・会社設立支援補助金の交付件数</td> <td>実績値</td> <td>3</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>4</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">先端設備等導入計画の認定件数</td> <td>実績値</td> <td>22</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>30</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>						成果指標		令和5年度	単位	企業立地件数	実績値	0	件	目標値	1	件	起業・会社設立支援補助金の交付件数	実績値	3	件	目標値	4	件	先端設備等導入計画の認定件数	実績値	22	件	目標値	30	件														
	成果指標		令和5年度	単位																																										
	企業立地件数	実績値	0	件																																										
		目標値	1	件																																										
	起業・会社設立支援補助金の交付件数	実績値	3	件																																										
		目標値	4	件																																										
	先端設備等導入計画の認定件数	実績値	22	件																																										
		目標値	30	件																																										
事業の評価・課題	C 補助金や税制優遇等により市内事業者を支援することができた。臨海部工業団地アクセス道路勉強会では行政・公安委員会・臨海部工業団地内企業が実施する渋滞対策についての情報共有及び意見交換したほか、臨港道路の右折レーン設置の検討を進めることができた。また、産業立地セミナーへの出展や企業訪問等の市長によるトップセールスを行い、石塚地区工業団地等への企業誘致活動を行った。企業の事業拡大は社会経済情勢に大きく左右されることが課題である。																																													
C 課題の整理																																														
A 今後課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	拡充推進 今後も引き続き、事業者の支援を推進し、雇用の維持・創出及び安定的な税収の増大を図るとともに、市内で企業活動を行いやすい環境を整備していく。																																												
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																								
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ない																																										
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地 ない																																										
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																																												

目標項目（予算計上時に作成）

評価項目（決算時に作成）

予算見積書で活用

主要施策の成果報告書で活用